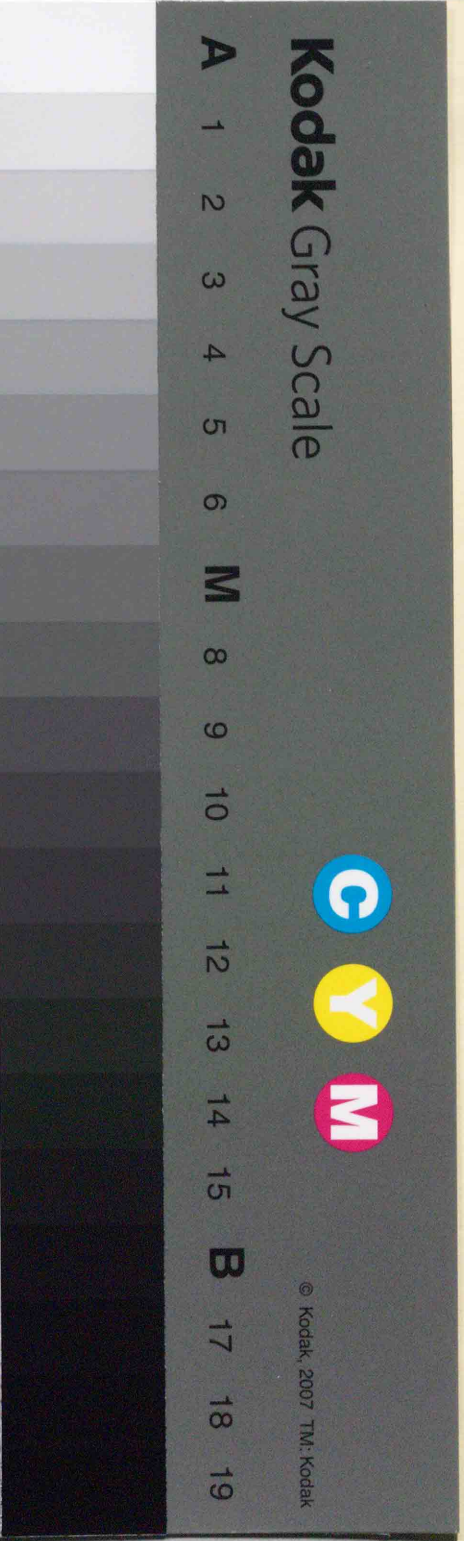
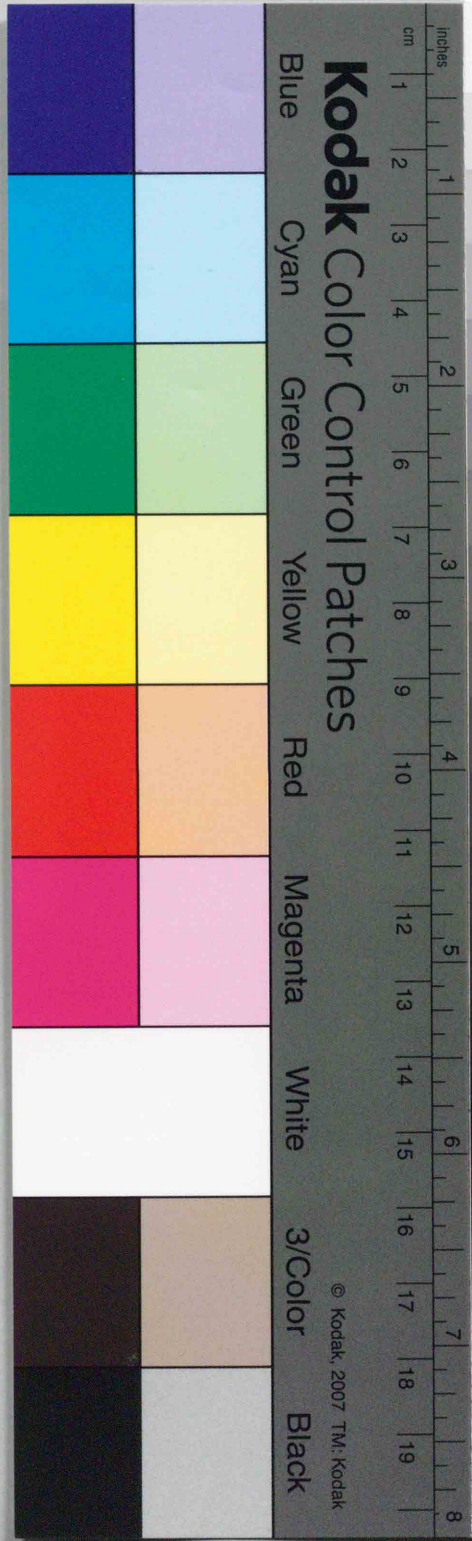
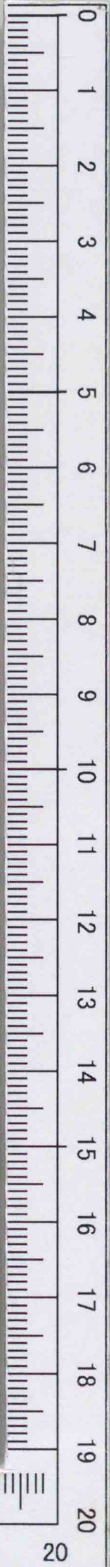


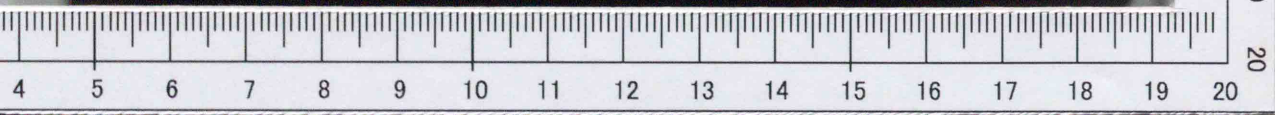
鳥取縣管内地誌

291.72
Yal3
資料室



30538
教科書文庫

3
291
32-1900
20000 30185



鳥取縣立大學圖書印

山楨晴次郎編纂



鳥取縣管内地誌

發賣處

徳岡太藏

例言

- 一、鳥取縣教育會編纂ノ管内地誌ガ現今ノ教科用書ニ適セザルコト、一學年ノ地誌教授ガ課程通りニ進マザルコト、ハ我が久米高等小學校ニ於テ數年間經驗セシ所ナリ、余ハ本年一學年ヲ擔當スルコト、ナリシヨリ當テ教授セシ經驗ニヨリテ本書ヲ編輯シ以テ生徒ノ筆記ニ要スル時間ヲ省キ本學科教授ノ進捗ヲ計ラントス此レ本書ヲ刊行セル所以ナリ、
- 一、本書ハ既ニ遲ソナル課程ヲ進マシメンガ爲メ咄嗟ノ間ニ編輯セシモノナレバ永久ニ教科書トスベキ要素ヲ欠ケル点尠カラズ又、文字、事實ニモ誤マレルモノ多カラシムコトハ教授ノ際ニ訂正スベシ、
- 一、地誌ノ準備的教授ハ管内地誌ノ範圍外ニ屬スルヲ以テ本書ニハ之ヲ省ケリ、
- 一、東伯郡ハ生徒ノ見聞ノ達スル適當ナル範圍ニシテ且ツ地理學ノ根本的思想ヲ養フニ充分ナル材料ヲ有ス故ニ東伯郡ヲ郷土ト稱シ之ヲ以テ所謂郷土誌ヲ説述セリ、
- 一、本書ハ倉吉町ヲ中心トシテ漸次ニ東伯郡ノ全体ニ及ボシ西伯、日野郡ヲ致ヘテ伯耆國ノ全部ニ及ビ更ニ進ミテ因幡國ニ至リ終ニ鳥取縣ノ全体ヲ説タルガ如ク徹頭徹尾小ヨリ大ニ進ムノ主義ヲ採用セリ、
- 一、上欄ヲ設ケテ讀ミ難キ文字ノ假名、紀元ノ年數等ヲ記セリ、但シ此ノ年數ハ一位ニアル數字ヲ省零セラルモノナリ、
- 一、本書ニハ地圖ヲ附セズ故ニ鳥取旭日堂發行ノ管内地圖、鳥取縣地圖等ヲ用ヰテ其缺ヲ補フベシ、終リ

ノ表ハ生徒ノ復習ニ便セシガ爲ナリ、

一、本書ヲ編成スルニ當リ久米校同僚諸君ノ校閲ヲ經テ益スル所少カラズ、殊ニ宮脇郁君、岸田政藏君ハ深キ注意ヲ以テ本書ノ文字、及ビ文典上ノ誤謬ヲ修正セラレ、且宮脇郁君ハ本書ノ出版ニモ大ニ盡力セラレタリ、茲ニ記シテ以テ謝意ヲ表ス、

明治參拾貳年七月

編者誌

一、本書ノ再版ニ於テハ二三ノ詞句及ビ一二ノ事實ニ訂正ヲ加ヘ且ツ地圖ヲ挿入セリ、

明治參拾參年 月

編者誌



鳥取縣管内地誌

第一章 郷土

第一 倉吉

倉吉町ハ二十五個ノ町ヨリ成リ、戸數一千八百餘、人口八千八百餘、商店相并ビ市街繁盛ナリ、郡役所、區裁判所、警察署、郵便電信局、銀行支店、學校、諸工場等あり、繭、稻、扱、生絲を産す、中にも生絲ハ外國に輸出せらるを以て其名高し。

倉吉ヨリ岡山迄
三十一里、
大阪迄

*ヤマナモロ
*今ヨリ一千百
七十年前

町は南方に打吹山あり、昔山名師義の據りし所
あり、其西面は長谷寺あり、養老五年乃創立なり
と云ふ。

道路は重なるも、此五、あり、關金往來、八橋往來、米
子往來、鳥取往來、竹田往來是れなり。

第二

小鴨川及び國府川流域地方

關金往來は小鴨村、上小鴨村を経て關金に達し、
美作より出づるに關金より大字山口村に通じ
る里道を便なりとす。

關金の關金往來は沿道中最もにぎはしき村に

*ミマサカ

*ヒルゼン

して郵便局あり、地は温泉ありを以て旅館、浴場
多し、倉吉を距る處と二里半なり。

美作は境は蛭山あり、東、中、西の三に分る、小鴨川
は重なる水源なり。

小鴨川及び國府川乃西にある高原を天神野、及
び大谷野と云ふ、大山の支脈にして此の地方の
大なる部分をふさぎ、地勢上より見れば大山
が活火山たりし時より出来しものゝ如し、大谷野
には縣立農業學校あり。

大字岩倉村は岩倉山あり、小鴨氏の據りし所な

と云ふ、又大字上米積村と古城山あり、稻置氏の居城なりと傳ふ。

此地方より米、小麥、吊柿、木材、薪、炭、繭等を産す。

第三

竹田川、三朝川流域地方

倉吉町大字湊町より東南に通じる道路を竹田往來と稱す、上灘村の南方にて三、二分る、三朝川に沿ふもの、三朝村に達し、加茂川に沿ふもの、中谷に通じ、竹田川に沿ふもの、穴鴨に達す。穴鴨の倉吉を距る、と三里半、山間にて、最もにきはじき村なり、郵便局あり、此れより栗祖村を

經て美作に通じる道路あり、此れあたりに、處處々々牧場あり。

山乃名あり、これに三徳山、三國山、人形山等あり、

三徳山に三佛寺及び投入堂乃奇觀あり、三朝

山田に温泉あり、浴客常に絶へず、倉吉より三

朝の二里許あり。

大字牧村に牧瀧あり、高さ六丈、地殊に閑靜なり、

又大字田代村に座性瀑あり、高さ四十丈、水力、頗

る強大なり、其他、門前村の阿彌陀瀑も亦有名あり。

産物は山葵、紫蕨、薑、筍、椎茸、材木、薪炭、繭等なる、

第四 東郷、北條地方

*イハキ

竹田川を源を穴鴨乃山中より發し、巖城村に至り、小鴨川と合しこれより天神川と稱し、大字江北村に至りて日本海に注ぐ、長さ凡八里二十町、幅壹町四十八間あり、毎年春季に鮎の上るもの多く秋季には鮭、此上るもの多し。

天神川乃左岸に廣き沃田相連る、このあたると北條地方と云ふ、農業乃最も盛なる地方なれば、五穀、繭、桑、疊表、甘藷を産すると頗る多し、海邊

*サツマイモ

此ものは漁獵を業とするものあり。

茶白山を大字國坂村にあり、昔吉川氏の守將を置き、所をさとぞ、又大字北尾村に城山あり、毛利氏の臣山田某の城趾なりと云ふ。

東郷池は倉吉乃東北二里餘にあり、周圍二里十町、四時風景、此美をあつむ、羽衣石、城山、鉢伏山、御冠山、馬山は池を廻りて相ならべり、湖中より温泉湧き出ると以て浴場あり、池水北流し橋津川となして海に注ぐ、産する所、此鰻最も名あり。

羽衣石乃城山を南條元續の城址として、馬山ハ

*ウエシ
*ハチブセ
*ミカムリ

*ナンデウ
モトツグ

吉川ハ南條ヲ攻
メシ陣セシメ
山ニ陣セシメ
アリキ
シトリノ
シシヤ

*トマリ

*サハリイケ

吉川元春が豊臣秀吉の來攻を防がんと爲めに陣
せし所なり、御冠山の山復に縣社、倭文神社あり、
國此一宮と稱す。
長瀬、橋津、松崎、泊*は天神川右岸あり、最も大なる
村にして戸數各三百許あり、橋津を米出場な
るを以て繁昌し、泊を港あるによきて漁業盛な
る、倉吉より橋津迄二里半、泊迄四里半あり、泊の
附近に障池あり。
大字北福村も今瀬あり、高さ十丈八尺、又大字漆
原村に村上瀑あり。

*タシリ
*イダラガヒ

*今ヨリ五百六十
年前

*高サ四十丈

*カセイチガハハ
長四里半アリ
*長サ三里

*田後の菅笠、宇野、宇谷の甘藷、和布、牡蠣**、伊平貝**
有名なる産物なり。

第五 由良、八橋地方

山代名あるもの、船上山、勝田山、矢筈山、飯盛山、
兜山なり、船上山の元弘三年、名和長年、後醍醐
天皇を奉じて賊軍を拒ぎしより、其名高じ、山
の東南に千丈瀑あり。
川の由良川、加勢陀川、洗川、勝田川、黒川、甲川**、等名
あり、由良川の流れ緩く、加勢陀川、洗川、甲川の流
れ甚だ急なり、加勢陀川の如きを降雨の時より

*赤崎ハ戸數七百
余アリ

倉吉ヨリ由良迄
二里半八橋迄四
里赤崎迄五里

*酸化鐵ナリ

*オコガハハ逢東
村ヨアリ
*オキ

*五百五十年前

水極め多けれども、平時は殆んど水流を見
ざることをいふ。

由良村、逢東村、八橋町、赤崎村の孰れも戸數三百
以上あり、就中、八橋、赤崎は商家相并びて一條の
市街となせり、赤崎は東端に松谷港あり。

此の地方より船上無名異、繭、茶種油、藍、赤崎燒鯛、
逢東和布、素麵、干温飴等を産す。

御幸川乃川口より返岩あり、後醍醐天皇隱岐よ
り還幸の時、着御せられし所ありと云ふ。

退休寺ハ大字退休寺村にあり、正平九年、僧玄翁

の創立せし所なり、轉法輪寺ハ別所村にあり、僧
空也の寂せし所なりと云ふ。

第六 東伯郡總論

上ニ述べし倉吉、小鴨川及國府川地方、竹田川、三
朝川地方、東郷北條地方、由良八橋地方を合して
東伯郡と稱し、東伯郡役所之を管す、東西凡九里、
南北凡五里にして面積四十三方里餘あり、町數
二、村數五十六にして戸數一万七千餘、人口九万
六千餘あり、東は因幡國、南は美作國に境し、西は
西伯郡及び日野郡に隣り、北は日本海に面す。

東伯郡ノ一年間
ノ繭ノ産額ハ四
千三百七十餘石
生糸ノ産額ハ四
千三百九十餘貫
目
米ノ産額ハ十一
万三千餘石
甘藷ノ産額ハ百
二十万貫目

第二章 西伯郡

第一 位置及び廣袤

西伯郡は東伯郡の西にあり、南は日野郡に隣り、西は中海及び出雲國に接し、北は日本海に濱す、^{*}夜見濱遠く海中に突出し、恰も葦の形をなせり、東西凡八里、南北九里、面積二十五方里餘あり、町數四、村數四十四にして、戸數二万一千五百餘、人口十萬五千四百餘あり。

第二 山川

^{*}イヅモノクニ
^{*}ヨミガハマ

^{*}ダイセン

山は最も高きものを大山とす、本名を大神山と云ひ、大山村にあり、高さ五千八百尺、昔は噴火せしとありと云ふ、山復々大神山神社は奥宮、大山寺及び赤松池あり、又其麓に大山野、長者原、船上原等あり、此等の平野に猶開墾すべき所少からざり、大山野に軍馬育成所あり。

鍋山、高麗山、瓦山、大山乃北にあり、鎌倉山、日野郡との界あり。日野川の日野郡より來り、福市村の北にて法勝寺川と合し、皆生村乃東にて海に注ぐ、長さ二十

^{*}カイケ

米川ハ米付某ノ
開鑿セシ所ナリ

カダ川ハ長サ四
里

アマダ川ハ長
サ三里

ミナト

里、河口の幅三町二十間あり、上流より盛に鉄砂
を洗ふを以て河口に砂洲を生ぜり、米川、新川は
日野川乃支流より、夜見濱を貫きて海に注ぐ、
新川も長さ殆んど六里あり。
佐陀川、阿彌陀川も共源を大山に發し、一、二の
小流を合せて海に注ぐ。

第三 都 邑

米子町は中海に東岸にあり、良港あるを以て海
陸交通乃便宜しく、市街頗る繁盛なり、戸數三千
五百餘、人口一万六千餘あり、西伯郡役所、第二中

學校、區裁判所、警察署、監獄署、郵便電信局、米子專
賣支局、病院、銀行支店、諸工場等あり、倉吉を距る
と十三里餘、出雲乃松江迄水路、七里餘あり。

境町は夜見濱の北端、米子を距る五里にあり、中
江瀬戸を隔て、出雲國島根半島と相對す、戸數
一千餘、人口四千五百餘を有し、市街繁盛にして
郵便電信局、測候所、等あり、其港を東西二十三町
南北八町にして深さ二丈許あり、港内波穩に
て大船巨舶、直ちに岸に着すべく、實に山陰道、第
一の良港なり、今も外國との貿易港となれり。

境港ヨリ朝鮮迄

※ヨドニ
※ミクリヤ

淀江ハ戸數八百餘

淀江町、御來屋町を戸數各五百以上を有し、市街繁盛あり、倉吉より御來屋迄九里余、淀江迄十一里余あり。

第四

産物

一年間ニ
米ハ十万九千六百餘石
綿ハ五十七万貫
甘藷ハ二百万貫
繭ハ二千六百石
ヲ産ス

日野川ハ兩岸及び夜見濱近傍の廣き平野は土地肥沃ありを以て夥しく農産物を出す、殊に綿、甘藷、干瓢、藍、繭、温飩、素麵、等有名あり、又人參、鱸、車蝦、赤貝、を本郡の特産なり。

第五

社寺及び古蹟

名和神社は御來屋町乃南、名和村にあり、別格官

※オホナムチノ
コト

※アンニユウジ

※タマコナイシ
ノウ

當時ノ齒形栗ノ
木ハ既ニ枯レニ
キ今其實ヨリ生
ジタル木アレド
モ未ダ實ヲ結バ
ズ

幣社として元弘代忠臣、名和長年を祀れる所なり、其社地ハ名和氏の倉庫代ありし趾なるを以て今猶往々焦米を出す。

大神山神社ハ大字尾高村にあり、國幣小社にして大己貴命を祭れる所なり、其奥宮ハ大神山、大山寺の近傍にあり。

安養寺ハ大字福市村にあり、元弘二年後醍醐天皇の皇女、瓊子内親王乃建立し給ひし所に於て内親王の廟墓あり、其境内に齒形栗あり。

逢坂ハ下市川ハ口にあり、後醍醐天皇着御の

子ノ南二里コナ
*セソダナ山ハ米
*ウムギヒメ
*キガヒヒメ
*オハヒゼン

地なる、小祠あり隱岐神塚と云ふ。
米子町湊山に久米城乃址あり、舊藩池田氏の支
城を置きし所よりて吉川氏の經營せし所なり。
膳棚山ハ麓ニ赤猪石あり、又山ハ西方天津村に
蛸貝比賣、蛤貝比賣を祭る、之を於婆御前と稱す、
共ニ神代の遺蹟あり。

第三章 日野郡

第一 位置及び廣袤

日野郡ハ西伯郡の南ニあり、西ハ出雲ニ境し、南

*ビニ

ハ備後、備中、美作に連り、東北ハ東伯郡ニ接す、東
西十三里、南北五里、面積三十二方里にして戸數
七千百、人口三万四千六百餘あり。
本郡ハ形勢ハ東北より西南ニ延び、中間殊にち
ぢまれるを以て、其形概ね瓢に似たり、郡内到る
處、山ならざるハなく、僅かに日野川の沿岸ニ平
地を存するのみ。

第二 山川

船通山は出雲乃境ニある高山にして、頂上に大
なる椴樹あり、大倉山は郡ハ南にありて高さ二

*センツラザン

千八百八十尺あり、此れ他、出雲、備後の境に三國山あり、美作の境に三平山あり、西伯郡の境に鳥山あり。

日野川を源を多里村の山中より發し、小原、石見、印賀の諸川を合せて益大河となり、溝口村の北より西伯郡に入り、沿流の諸村、鉄砂を洗ふを以て毎年秋分よき春分の間を水、大に濁り、下黒坂村に鵜池あり、下流は日野川に注ぐ。

第三 郡 邑

日野郡には廣き平野なきを以て大なる郡邑な

し、溝口、二部、江尾、根雨、板井原、黒坂、多里の郡中の最も大なる村をれども戸數孰れも一百内外の過ぎ、板井原の美作に出づる驛路にして多里の備後に出づる通路に當れり、二部より日野郡役所あり。

第四 産 物

鐵の一年間より五十一万貫目餘を産し、煙草を八万三千貫目餘を産す、其他、茶、大麻、苧、印賀鋼、紫石英、白石英、石灰、諸材木、薪、炭、栗、香簞等を産す。

第五 古 蹟

*オホキビツヒコ
ノミコト

崩御山乃頂上に巨石あり、傳へ云ふ、孝靈天皇
の皇子、大吉備津彦命の墓なりと、黒坂村乃鏡山
の元弘代義臣、日野義行の城址ありと云ふ。

第四章

伯耆國總論

伯耆國を東伯、西伯、日野乃三郡より成り、東西凡
十七里、南北凡八里、面積百〇一方里餘にして、人
口二十三万六千二百餘あり、東を因幡、西は出雲、
南は美作、備中、備後の三國と接し、北は日本海と
面せり。

伯耆國の耕地反
別二万七千八百
餘町あり一年間
ノ米ノ産額ハ二
十六万八千餘石
ナリ

本國を南に山を負ひ、北、海と臨めり、以て降雨
多く従て濕氣多し、最も寒き時を攝氏寒暖計の
氷点以下六度六分に達し、最も暑き時を三十五
度七分と達す。

第五章 因幡國

第一 地勢及び人口

因幡國の伯耆國の東にあり、東は但馬國に接し、
 南は播磨、美作の二國に境し、北は日本海に面す、
 東西十三里、南北十一里、面積五十四方里餘あり。
 國を分ちて鳥取市、岩美、八頭、氣高の三郡とし一
 市役所、三郡役所を置きて之を管せしむ、耕地反
 別一万八千九百餘町、人口十七万九千餘あり。
 本國の形勢は略方形をなし、三方は山岳を以て
 之を圍めり、國內山多くして、平野少なく、氣候は

*タシマ

*ハリマ

*イハミ
*ヤツカミ
*ケタカ

伯耆國と大差なし。

第二 山川

*ウベ

扇山と岩美郡とあり、但馬國と跨れる高山なり、宇倍山は一名を稻葉山と云ふ、岩美郡の中央と

*ヒユウノセン

あり、山脈東西に延びて鳥取市乃南方と達せり。豹山、菅山、八頭郡にあり、共、但馬の境あり。

*高サ二千八百八十尺

高山なり、豹山北南と但馬と出づる間道あり。

*トキノザン

人阪峠の八頭郡、美作の境あり、俗に駒歸坂と云ふ、鳥取より山陽道に出づる縣道を通ぜり、頭

*モナガセムラ

巾山の同郡、用瀬村の東と屹立せり、其形、頭巾と

似たるを以て名づく、山上と奇岩多し。

*ナギノセン

那岐山の智頭村北南に峙てり、其麓に作州、津山

*サツムラ

と出づる本道あり。

*シユウボウサン

伯耆、美作の境と三國山あり、其北に鷲峰山あり。

*ハ高サ二千八百尺アリ

千代川の源を智頭村乃山中より發し北流して

*ヒケダ

曳田川、八東川、野坂川、袋川、湖山池等の水と合せ益大河と云ふ、加露港の東より海に注ぐ、長さ十

二里、河口の廣き所三町ふ及べり。

*ボウギガハ

岩美郡に岩本川あり、氣高郡に寶木川、青谷川あり。

第三 池及び瀑

※ガ子ガイケ
※オクツウミ
イケ

湖美池と氣高郡湖山村にあり、周圍三里二十六町、池中五個の小島あり、其中、青島最も大なり、池水は東北に流れて千代川に入る、其他岩美郡に細川池、湯山池、多禰池あり、氣高郡と奥澤見池、日光池あり、周圍孰れも一里に充たせ。

※ヌノヒキダキ

岩美郡、大字雨瀑村に瀑布あり、雨瀑と云ふ、高三丈、幅六尺あり、其傍に箱瀑、布引瀑あり、共二袋川に水源となせり、又、曳田川に上流に不動瀑、横瀑あり。

第四 都 邑

鳥取市の倉吉と距ると十三里三十三町、七十個の町と四個の村よりなり、戸數六千百餘にして人口、二万八千百餘あり、市街端正として道路四通し商業繁盛なり、縣廳、地方裁判所、警察署、郡役所、市役所、師範學校、第一中學校、郵便電信局、病院、銀行、新聞社、諸會社等あり、近年市乃南方に第十師團歩兵第四十聯隊を設置せり。

※ウラドメ
※アミロ

岩美郡に浦富、岩井あり、岩井に温泉あり、又網代、田後、よの良港あり。

*チツコハ鳥取ヨ
リ八里アリ
*ワカサ

*倉吉ヨリハマ村
迄八里半
*アチヤ迄六里
半

八頭郡に用瀬、智頭、若櫻、ハ、孰れも山陽道に出
づる驛路に當れるを以て繁盛なす。
氣高郡に加露、吉岡、寶木、濱村、鹿野、青谷等あり、加
露の千代川の河口にあり、港にして人家多し、近
時、鳥島に達する突堤を築き、るれども、猶風波を
防ぐに足らざ、吉岡、濱村に温泉あり、寶木村、鹿野
町、青谷村の沿道の名邑なり。

第五 産物

産出の多量あるを五穀にして、一年間二十万
六千餘石の米を産す、之れを次ぐものを八頭郡

*エンゴウジイシ

*八頭郡ヨハ漆ノ
木四万六千本ア
リ

*八頭郡ヨリ一
年間一萬七千
貫目餘ノ茶ヲ産
ス

*モロガイシ

*オホナダニ

此杉材を、其他岩美郡にも生絲、絹布、藍、楮、三楮、
蠟、銅、圓護寺石、白珊瑚、蝶、蟹等を産し、八頭郡よ
楮、三楮、紙、麻、苧、生絲、烟草、漆、茶、石灰、諸鹿石、花崗石
等を産し、氣高郡よ楮、三楮、紙、麻、苧、煙草、柿、甘藷、
菅笠、木綿、生絲、鯉、鮒等を産す。

第六 社寺及古跡

宇倍神社の岩美郡大字宮下村にある、國幣中社
として、武内宿禰を祀る。
樗谿神社は鳥取市にある、徳川家康、及び舊藩池
田氏を祀る、社殿壯嚴、土地幽邃なり。



白鬼神社を氣高郡大字内海村（今）あり、神代乃遺蹟なり。

清源寺を大字奥谷村にあり、舊藩主池田氏累世乃墓あり。

摩尼寺は岩美郡摩尼山にあり、帝釋を安す、頂上を靈所あり。

鳥取城址を鳥取市、久松山乃南麓にあり、舊藩主池田氏に據りし所にして、石疊、塹壕等、今猶存す。八頭郡、岩屋堂村より一大石窟あり、内より小堂を安す、大同年間乃作なりと云ふ。

*マニデラ

*今ヨリ凡一千百三十年前

*フセムラ

若櫻村、布施村、鹿野町に古城址あり。

第六章

鳥取縣總論

鳥取縣は大日本帝國山陰道に中央にあり、因幡、伯耆に二國を管す、東は兵庫縣、南は岡山縣、廣島縣、西は島根縣に境す、面積百五十一方里にして人口四十一万五千余あり。

地勢山多く、交通不便なるを以て、文化に進歩を妨げ、工業、商業、共に未だ盛ならざり、日本帝國中最も貧弱なる地方の一なり、將來鉄道布設せられ、

一市六郡七町二百三十村アリ

鳥 取 縣							縣
國 幡 因				國 著 伯			國
氣高郡	八頭郡	岩美郡	鳥取市	日野郡	西伯郡	東伯郡	郡市
鷲峰山、	頭巾山、 那岐山、 三國山、	扇山、 宇倍山、		船通山、 三國山、 三平山、 鳥山、	瓦山、 大神山、 鍋山、 高麗山、	蛭山、 三徳山、 三國山、 人形山、 鉢伏山、 馬山、 船上山、 勝田山、 矢筈山、 飯盛山、 兜ヶ山、	山
寶木川、 青谷川、	千代川、 野阪川、 八東川、	千代川、 袋川、 岩本川、		日野川、 小原川、 石見川、 印賀川、	日野川、 法勝寺川、 米川、 新川、 阿彌陀川、 佐陀川、	小鴨川、 國府川、 竹田川、 天神川、 由良川、 加勢陀川、 勝田川、 甲川、	川
池山湖				池、鵜	池、松、赤	池、郷、東	池
青谷村、 鹿野町、 加露村、	若櫻村、 智頭村、 用瀬村、	岩井村、 浦富村、		根兩村、 二部村、 溝口村、	御來屋町、 淀江町、 米子町、 境	八橋町、 倉吉町、	都 邑
紙、 煙草、	楮、 三楮、 漆、	白珊瑚、 絹布、 銅、		茶、 石莖、 鐵、 煙草、	生絲、 綿、 人參、 五穀、 繭、	五穀、 繭、 生絲、	産 物

鳥取縣管内地誌終

教育進歩せば、縣下の面目を一新するに至らむ。

明治三十二年八月二十五日印刷

明治三十二年八月三十日發行

明治三十三年四月六日再版印刷

明治三十三年四月二十日發行

編纂者

山 榑 晴 次 郎

東伯郡上灘村大字下田中村

發行者

德 岡 太 藏

東伯郡倉吉町大字東岩倉町
四拾八番地

印刷所

倉 吉 隱 岐 印 刷 處

東伯郡倉吉町大字瀬崎町
廿四番地

850

